



Solutions For The Future.

Business Report

2010年2月期中間報告書

2009年3月1日～2009年8月31日

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当中間期におきましては、当社が再び成長・飛躍をするための基盤固めと黒字転換を果たすことに役職員一人ひとりが集中し、取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期より黒字化を達成し、当中間期純利益におきましては、当初の連結業績予想を大幅に達成することが出来ました。当中間期の連結業績は、売上高15,426百万円、営業利益482百万円、経常利益133百万円、当期純利益が1,169百万円となっております。また、当中間期業績を踏まえ、通期連結業績予想の修正を行っております。

しかしながら、配当可能利益となる利益剰余金がマイナスであることから、当期におきましても、無配とさせていただいておりますことを深くお詫び申し上げます。

今後は、「選択と集中」、「差別化」、「リアリティ(実現可能性)」、「ブランドの再構築」をキーワードに、より積極的な営業活動を通じて安定的収入の確保を図るとともに、収益構造の変革を強力に推進し、企業安定性を向上させていくことで、更なる企業価値向上を図ってまいります。

引き続き、ご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表執行役会長

スコット キャロン

代表執行役社長

岩崎 謙治

当中間期の取り組みについて

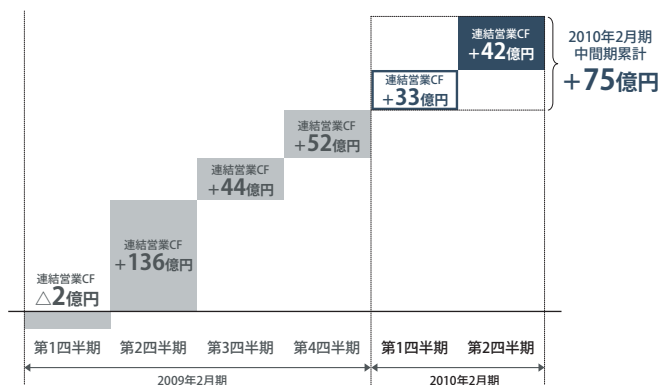
前期に引き続き財務の健全性向上と 収益構造の変革を推進

当中間期におけるわが国の経済環境は、世界的な金融危機の深刻化による悪化からやや下げ止まりつつあり、当社グループの属する不動産業界を取り巻く環境は予断を許さない状況が続いておりましたが、徐々に回復の兆しは見え始めてきております。

このような環境下において、当社グループは、前期に信頼性の高い財務基盤を確保できたことから、財務体質の一層の改善と、収益構造の変革を推進するとともに、今期以降の安定的な黒字化に向け、「キャッシュ・フロー経営」の徹底、資産売却による手元流動性の確保、有利子負債の返済、新規ファン

「キャッシュ・フロー経営」の徹底

当社は、当第2四半期まで5四半期連続で営業キャッシュ・フローの黒字を継続しております。当中間期における営業キャッシュ・フローは+75億円となりました。



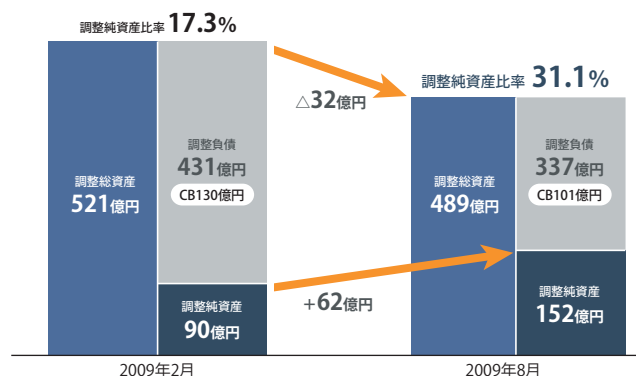
ド組成に向けた営業活動の展開、新たなフィービジネスの展開、徹底的なコスト削減および経営効率向上等に取り組んでまいりました。

当中間期において、資産売却につきましては、企業投資案件15件、不動産1件の売却により、61億円回収いたしました。

また、コーポレートの有利子負債につきましては、84億円圧縮いたしました。

資本の増強

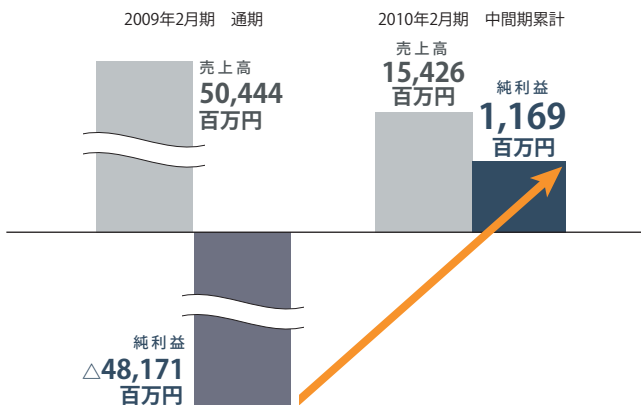
前期に引き続き資産売却を進め、調整総資産を前期末より32億円圧縮しております。また、純利益の計上(約12億円)、CBの転換(約29億円)、株式市場の好転等による改善(約19億円)により、調整純資産は、前期末比+62億円となりました。



※当社グループの連結ファンドに係る資産、負債の内、当社グループに帰属しないリスクを控除した調整「B/S」ベース

損益の黒字転換

今期以降黒字化に向け、取り組んでおりましたが、当第1四半期より黒字化を達成し、当中間期における純利益は、1,169百万円となり、中間期連結業績予想を大幅に達成いたしました。



通期連結業績予想の修正

当中間期業績を踏まえ、以下の通り、通期業績予想を修正いたしました。売上高は当初の予想を29億円上回る211億円となる見込みです。営業利益、経常利益につきましては、一部個別の案件による評価損を計上したことから、それぞれ11億円、4億円となる見込みです。また、当期純利益につきましては、資産売却による特別利益を計上したことにより当初予算を3億円上回る13億円となる見込みです。

(単位:百万円)

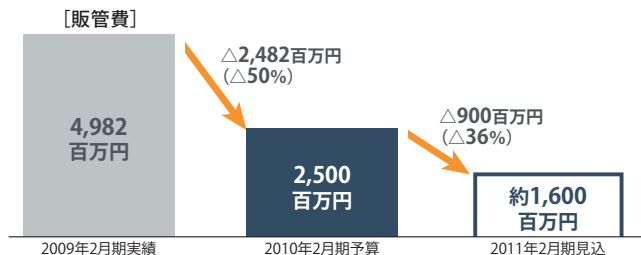
区分	修正後	修正前
売上高	21,100	18,200
営業利益	1,100	2,200
経常利益	400	1,400
当期純利益	1,300	1,000

今後の取り組みについて

収益構造の改革

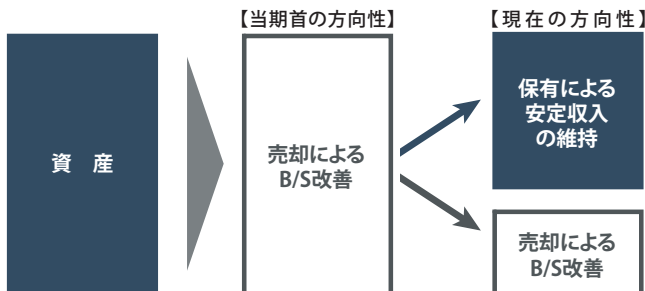
今後の取り組みといたしましては、安定的収入の維持・確保を推進するとともに、収益構造の改革を推進してまいります。

販管費につきましては、選択と集中及び効率化により、大幅削減の見込みとなりました。



*アセット・インベストメント・アドバイザーズ、アセット証券、Asset Managers(Asia)、アセット・マネジャーズ・ホールディングスの4社の連結ベース

また、当第1四半期におきましては、より安定した財務体質の確保を目的として資産売却を推進してまいりましたが、当第2四半期以降におきましては、来期以降の収益性を鑑みた資産売却方針へ移行し、収益性の高い資産は保有を継続し、来期以降の安定収入の維持を図っております。



財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2009年8月31日現在)	前期 (2009年2月28日現在)
総資産	118,229	140,875
流動資産		
現預金	16,267	18,449
営業投資有価証券	10,215	11,779
たな卸資産	77,331	97,184
営業貸付金	754	726
短期貸付金	2,690	—
貸倒引当金	△ 4,123	△ 3,899
その他	2,656	2,993
固定資産		
有形固定資産	3,331	3,500
投資有価証券	7,336	6,500
長期貸付金	900	2,051
貸倒引当金	△ 6	△ 6
その他	872	1,467
繰延資産	2	126

科目	当中間期 (2009年8月31日現在)	前期 (2009年2月28日現在)
負債	100,564	127,929
借入金・社債(ノンリコースローン除く)	18,148	23,609
ノンリコースローン	61,981	78,649
CB	10,090	13,000
その他	10,345	12,670
純資産	17,665	12,945
資本金	20,488	19,083
資本剰余金	1,405	18,929
利益剰余金	△ 7,756	△ 27,803
自己株式	△ 36	△ 36
評価・換算差額等	483	△ 1,449
少数株主持分他	3,080	4,221

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2009年3月1日から 2009年8月31日まで)	前中間期 (2008年3月1日から 2008年8月31日まで)
売上高	15,426	37,030
売上原価	13,342	31,763
売上総利益	2,084	5,266
販売費及び一般管理費	1,601	6,837
営業利益(△損失)	482	△ 1,570
営業外損益	△ 349	△ 1,855
経常利益(△損失)	133	△ 3,426
特別損益	693	△ 2,842
税引前利益(△損失)	826	△ 6,268
税金等	100	291
少数株主利益(△損失)	△ 443	△ 2,082
中間純利益(△損失)	1,169	△ 4,477

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2009年3月1日から 2009年8月31日まで)	前中間期 (2008年3月1日から 2008年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,565	13,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 77	1,976
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,180	△ 18,444
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 113	△ 107
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 806	△ 3,138
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 1,656	△ 683
現金及び現金同等物の期首残高	18,098	32,463
現金及び現金同等物の中間期末残高	15,635	28,641

<http://www.assetmanagers.co.jp/>

詳細は当社ホームページの「IR 情報」にてご確認ください。

株式情報 (2009年8月31日現在)

発行可能株式総数：2,750,000株

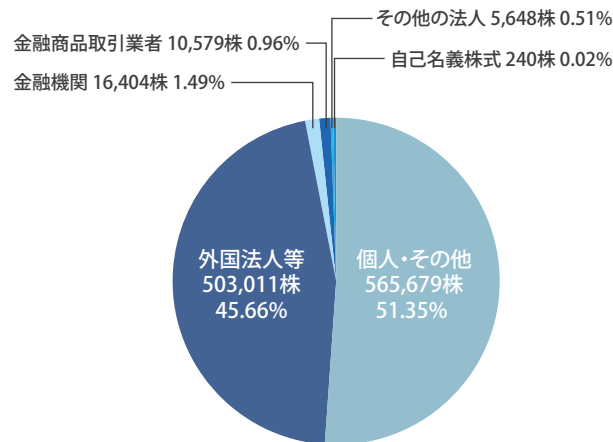
発行済株式総数：1,101,561株 ※自己株式240株を含む

株主数：25,937名

大株主一覧

株主氏名	持株数(株)	持株比率(%)
いちごアセットトラスト	369,210	33.51
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	40,286	3.65
古川 令治	30,800	2.79
バンクオブニューヨーク ジーシーエム クライアントアカウントジェイビーアールデイ アイエスジー エフイーエイシー	16,087	1.46
大阪証券金融株式会社	13,968	1.26

所有者別株式分布状況



会社概要

【商号】 アセット・マネジャーズ・ホールディングス株式会社
(英文名: Asset Managers Holdings Co.,Ltd.)

【本社】 東京都千代田区内幸町一丁目1番1号
帝国ホテルタワー

【資本金】 20,488百万円(2009年8月末現在)

【設立年月日】 2000年3月17日

【上場日】 2002年11月8日

【主要子会社】 アセット・インベストメント・アドバイザーズ株式会社
アセット証券株式会社

【執行役】

代表執行役会長

スコット キャロン

代表執行役社長

岩崎 謙治

執行役副社長 不動産部門責任者

長谷川 拓磨

執行役副社長 金融・財務部門責任者

佐橋 数哉

常務執行役 管理部門責任者

石原 実

執行役 開発・CRE事業部担当

石松 昇洋

執行役 企画経理部担当

南川 孝

執行役 J-SOX推進部担当

植田 進

執行役 不動産事業部、大阪支店担当

小笠原 行洋

株主メモ

事業年度	3月1日～2月28日(閏年の場合は2月29日)
定時株主総会	毎年5月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行の本支店 【お取扱い場所】 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター 東京：0120-232-711(平日9時～17時) 大阪：0120-094-777(平日9時～17時) http://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場証券取引所	大阪証券取引所 ヘラクレス市場(証券コード：2337)
公告の方法	電子公告掲載URL http://www.aspir.co.jp/koukoku/2337/2337.html

※ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告します。

アセット・マネジャーズ・ホールディングス株式会社

(英文名:Asset Managers Holdings Co., Ltd.)

〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目1番1号 帝国ホテルタワー